OMURA CITY INFORMATION Cまごと

災害危険箇所状況視察

雨の時期に合わせ、防災関係機関が、市 内の危険箇所の状況を視察しました。

今回は、土砂災害ハザードマップで特別警戒区 域に指定している鈴田地区陰平町と、重井田ダム の農林災害復旧箇所を確認しました。土砂災害ハ ザードマップは市ホームページに掲載しています。



昨年土砂災害が発生 た重井田ダムを視察。

大雨

などの災害に備えて

仙

北

村

両

市

0 更

なる交流

0 絆 を

5/23 大学誘致戦略会議

学運営に携わる有識者などで組織する「大 学誘致戦略会議 |の初会合を、市東京事 務所(東京都千代田区)で開催しました。

会合では、実践的な大学誘致を進めるため、大 学の特色や規模などについて意見交換しました。



新しい市東京事務 意見交換しました。 所で

5/14

5/15

美し

£ \$

大村湾を取り戻すために

5/22

5/29 仙北市•大村市姉妹都市提携35周年記念式典

辰の役が縁で、本市と旧角館町(現仙北 市)が姉妹都市提携の調印をしてから、35 年を迎えました。これを記念して、仙北市からも門脇 市長をはじめ、関係者をお招きし、記念式典を市内 のホテルで開催しました。式典では、これからも両市 がさらなる交流の絆を深めることを確認しました。



関係者約350人が出度 し盛大に開催しました。

環境省への要望活動

本市長が環境省を訪問し、会長を務めて いる「大村湾をきれいにする会(県内5市5 町)」と、「全国閉鎖性海域環境保全連絡会(全国 7団体)」の要望書を提出しました。一刻も早く、ふる さとの美しい大村湾を取り戻すために、精力的に活 動していきます。



環境省を訪問し、直接要 望書を手渡しました。

農林行政に対する建議書提出

村市農業委員会(田添会長)が、農林行 政に対する建議書を市長へ提出し、その実 現を強く要望しました。

今回の建議では、地域農業の担い手の確保、 農地の有効利用、農畜産物の特産化など、8項目 を要望しました



農林行政に対する建 書を手渡す田添会長。

5/29

地 域農業の活性化に

向 け

地域包括ケアシステム協定締結式

療、看護、介護と行政が連携を図り、地域 の包括的な支援・サービス提供体制(地域 包括ケアシステム)の構築を官民協働で進めるた め、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護支援専 門員連絡協議会と市との間で、包括的連携協定 を締結し、調印式を行いました



サービスの向上を目指 連携することを確認。

充実したサービスを提供するため

OMURA CITY TIMFORMATION CHILD

鈴田峠の交通渋滞は慢性的で、交通量も年々増 加しています。その影響で交通事故が増加し、排 気ガスの問題なども懸念されています。

国道34号大村~諫早間の早期整備を目指すシンポジウム

元から官民一体となって4車線化の実現を目指す

34号大村·諫早間整備促進期成会

ことを宣言しました。

います。 たしています。 市民生活にも大きな影響を与えて 気ガスの問題など、経済はもとより 活力ある都市機能を支えています。 な渋滯の発生で、事故の増加や排 位置し、県内の拠点都市間を結び 特に、大村・諫早間は、中央部に しかし、交通量の増加や、慢性的

県央都市間のみちづくりを考えるシンポジウムで、地

国道34号の現状

一般国

道34号は、長崎県を南北

経済、文化活動に大きな役割を果 に縦断する幹線道路であり、社会 PICK UP

国道34号大村・諫早間

日も早い4車線化実現に向け

7

の調査区間に入ることが発表され 実現を目指すことを宣言しました。 ジウム」を開催。地元から、渋滞解消 までの間が、国の事業認可の前段階 与崎(大村市)から本野(諫早市 体となって、1日も早い4車線化の とともに、大村・諫早両市が官民 に向けた熱いメッセージを発信する 諫早間の早期整備を目指すシンポ 昨年10月に、「国道34号大村~ その思いが実を結び、今年3月

新期成会を設立

の皆さまにご出席いただきました。 事や国土交通省、地元選出国会議員 期成会」設立総会を開催し、中村県知 る、「国道34号大村・諫早間整備促進 両市とその民間団体などで組織す 力に推進していくために、大村・諫早 これからの取り組みを、より一層強

の一日も早い4車線化の実現に向けて、 小船越トンネル(諫早市)交差点まで を高め、中央に向け発信していきます 大村・諫早両市が官民一体となって機運 国道34号与崎(大村市)交差点から、 ↑会長の松本大村市長、副会長の宮本諫早市長 は、両市が強く連携し一日も早い4車線化の実現

5/25

|整備促進期成会||を設立しました

村市内幹線道路整備促進期成会 (会長:松本市長)」が、県選出国会

官民で組織する 「国道34号等大

市コミセン

に向けて決意を述べました。



↑国土交通省徳山道路局長に、地図で示し地元の 切実な声を届けました。

の写真や地図を示し、地元の切実 道34号大村~諫早間の4車線早期 が、国土交通省の徳山道路局長に 議長、角谷商工会議所会頭など 活動を行いました。 議員や国土交通省に対して要望 を強化し、幹線道路網の早期整備 な声を届けました。 事業化」を、松本市長が渋滞状況 直接面会し、長年の懸案である「国 今後も、県や関係自治体と連携 松本市長をはじめ、田中市議会

を目指し強く要望していきます。

6/2~3